

年末に振り返る「家庭ごみの減量」

私たちの生活は、多くの資源があふれ豊かで便利になった反面、さまざまな環境問題が深刻化しています。

今日は、年末の大掃除に備えごみの捨て方や松浦市が取り組むごみの減量方法について紹介します。



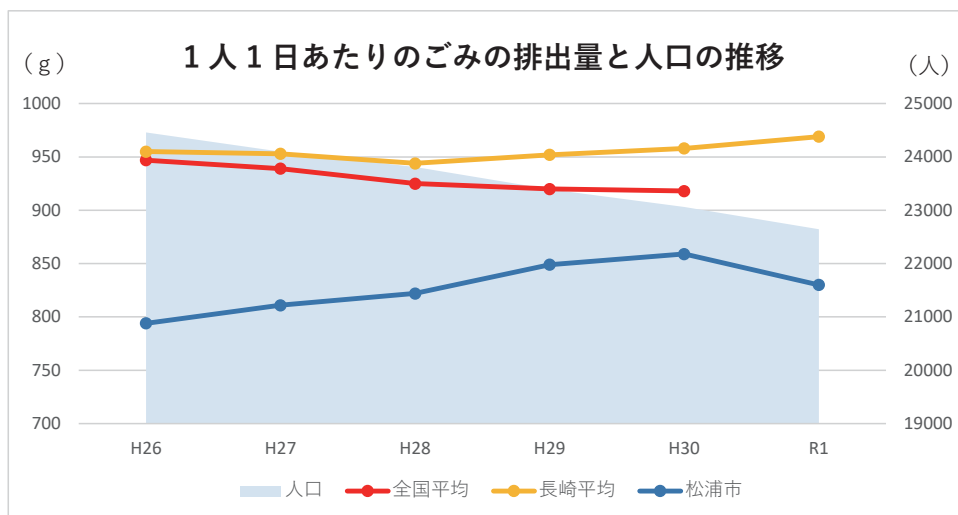
人口と1人1日あたりのごみの排出量の推移

下のグラフは、平成26年度から令和元年度までの、本市の人口およびごみの排出量の推移をグラフ化したものです。

本市では、人口が減少する一方で、1人1日あたりのごみの排出量は平成30年度まで増加していました。昨年度は減少に転じ、1日1人あたり830gの排出量となりました。また、過去5年間の全国、県平均値と比較しても、本市の値が下回っていることが分かります。この結果は、市民皆さんのごみの減量化、再資源化へのご理解とご協力によるところが大きいものと考えています。

しかし、分別を怠ると、ごみは増えてしまいます。一時的ではなく持続的にごみを減量することで、環境負荷を低減していくことが、本市の課題です。

本市では更なるごみの減量、再資源化の促進を目指して、市民の皆さんと共に取り組みたいと考えています。



※令和元年度の全国平均は未集計

特集 年末に振り返る「家庭ごみの減量」

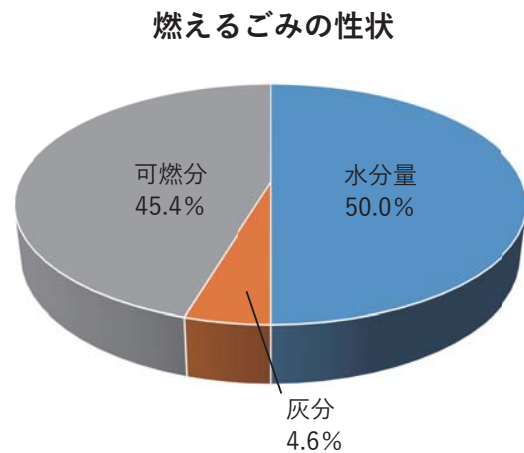
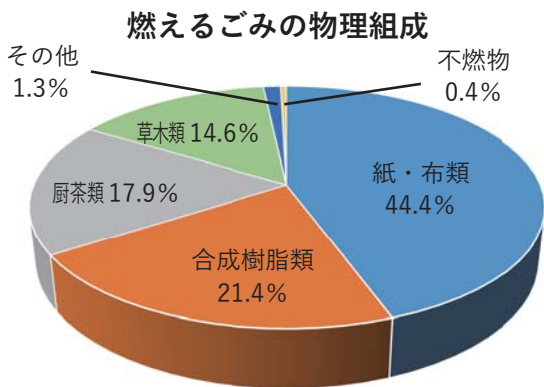
家庭ごみを調査しています (組成分析)

本市から排出されたごみは、平戸市田平町にある、「北松北部クリーンセンター」で処理されます。クリーンセンターでは毎年、家庭からどのようなごみが出されているかを調査しています。

その結果、燃えるごみには、半分近く水分が含まれていることが分かります。また、燃えるごみに含まれているもの内「紙・布類」が約45%と最も多く、次いで「合成樹脂類」、「厨芥類(生ごみなど)」、「草木類」が続いています。

分ければ資源！ ごみの減量化にご協力を

燃えるごみの中には、紙類や厨芥類(生ごみなど)が多く含まれています。これらを再資源化することによって更なるごみの減量化が可能となります。



紙類の再資源化について

○資源物回収奨励金制度

本市では、資源物(新聞紙、雑誌、段ボール)の回収活動を行っている登録団体に対して、1誌につき4円(1円未満の端数が生じた場合は切り捨て)の奨励金を交付しています。また、登録団体のうち前年度比回収量が多かった上位5団体には、「まつうら地域振興券」を交付しています。

○雑がみ回収モデル事業

現在、更なるごみの減量化および家庭から出る雑がみ対策の一環として、雑がみを市指定ごみ袋と交換するモデル事業を実施しています。

家庭から出る雑がみを紙袋等に入れて、市民生活課、福島支所、鷹島支所のいずれかの窓口まで持参してください。1誌ごとに燃えるごみ(大)の指定袋1枚と交換します。

モデル事業は令和3年3月31日まで実施します。(詳しくは市ホームページをご覧ください)

その紙は「ごみ」ではなく「資源」です。

例 雑がみとして出せるもの

ティッシュの箱 トイレtpーパーの芯 封筒など

例 雑がみとして出せないもの (燃やせるごみへ)

レシート 現像した写真 紙コップ

生ごみは分別して出しましょう

北松北部クリーンセンターでは、皆さんの家庭から廃棄物として収集された浄化槽汚泥、生ごみ、し尿をリサイクルして、汚泥堆肥「環境一番」を作っています。これにより、更なるごみの減量化とリサイクルの推進が期待されます。

生ごみは、生ごみ用の指定袋（大、小）で決められた日に出してください。なお、生ごみの指定袋は、以前の破れやすい素材から現在は破れにくいポリエチレン製の袋に変更しています。

○捨てる前には水切りを！

生ごみを捨てる時、そのまま捨てていませんか？生ごみの約80%は水分です。水分が重さと臭いの原因となります。水切りは地味な作業ですが、手間を掛けることによって次のような効果が見込めます。

- ① 生ごみ袋が少なくてすむ。
- ② 軽くなり生ごみ出しが楽になる。
- ③ 嫌な臭いが減る。



▶「環境一番」

購入を希望される人は、
田平土地改良区まで
(☎0950・57・3410)



▶生ごみにできるだけ触れたくない人は、おしゃれで簡単に水が切れるグッズを使ってみよう！

ごみ出しのルールとマナー

ごみを出すときは、今一度分別のルールと収集日を確認し、マナーを守って出しましょう

1. 時間を守りましょう

ごみは、決められた収集日当日の朝8時までにごみ置き場に出してください。前日の夜や収集後に出すと、野良猫やカラスなどに荒らされて、ごみが散乱する原因になり、近隣の人の迷惑になります。

2. 収集日を守りましょう

ごみの種類によって収集日が異なります。決められた収集日以外の日にごみを出すと、収集できずに放置され、付近の衛生環境や景観が悪くなり、近隣の人の迷惑になります。収集日は、各家庭に配布している「ごみ出しカレンダー」を確認してください。

3. 決められた場所へ

お住まいの地域で決められた場所に出しましょう。**ごみ置き場は合理的な収集と衛生面を考えた、各地区の皆さんで設置、管理を行っています。**マナーを守って使用しましょう。

4. 分別をしましょう

ごみはきちんと分別しましょう。分別していないごみは収集できません。分別のできていないごみは黄色の警告ステッカーを貼るので警告内容を解消してください。分別の方法は、各家庭に配布している「ごみ出し便利帳」を確認してください。



私たちにできること

現在、地球温暖化や、海洋プラスチックなどのさまざまな環境問題が深刻化しています。これらを解決するために私たちができることは、「ごみを減らすこと」です。

その一つとして、レジ袋の有料化が7月1日から実施されています。これは、過剰に使い捨てられるプラスチックを、少しでも減らすための取り組みです。外出するときは、必ずマイバッグを携帯するなど、一人ひとりが普段の生活を見直し、ごみを減らしていくことが、環境を守る第一歩となります。

ごみ出し日の朝や慌ただしくなる年末は、資源ごみの分別、生ごみの水切りといった作業が少し手間に感じるかもしれません。しかし、これを機にごみの出し方について考え、「ごみも資源」という意識をみんなを持ってみませんか。

【問合せ先】

市民生活課生活環境係 内線141

年末年始のごみ収集について

年末は12月30日（水）まで、年始は令和3年1月4日（月）から開始します。

お住まいの地区によっては異なる場合がありますので「ごみ出しカレンダー」でご確認ください。

12月31日から令和3年1月3日までの期間は、市内全域ごみの収集は行いませんので、ごみステーションにごみを放置しないようご協力をお願いします。

また、12月29日（火）と30日（水）は、北松北部クリーンセンターへの直接搬入が可能です。

（両日ともに午前9時～午後3時）詳しくは左記問合せ先まで

【問い合わせ】

北松北部環境組合
☎0950-26-1300

感染症対策としてのごみの捨て方

「ごみの捨て方」を心がけることで、家族だけでなく地域の皆さんや廃棄物処理に携わる人にも感染症対策として有効です。毎日使用しているマスク等の捨て方について、皆さんのご協力をお願いします。

新型コロナウイルスなどの感染症対策としてのご家庭でのマスク等の捨て方

新型コロナウイルス感染症は、飛沫感染、接触感染により感染するとされています。皆さんが感染予防で使用しているマスクやティッシュには、唾液や鼻水などが付着しています。これらを捨てる際は、感染予防のため以下のことに注意し、取り組みましょう。

ごみの捨て方

- ①ごみ箱にごみ袋をかぶせません。いっぱいになる前に早めに②のとおりごみ袋をしぼって封をしましょう。
- ②マスク等のごみに直接接触することがないようにしっかりとしぼります。
- ③ごみを捨てた後は石鹸を使って、流水で手をよく洗いましょう。

※万一、ごみが袋の外に触れた場合は、二重にごみ袋に入れてください。